

平成 27 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

Table with columns: 事務事業名, 会計名称, 総合計画での位置づけ, 事業の性格, 事業の対象, 事業の目的, 改善策の具体的な取り組み(当初), 改善策の具体的な取り組み(二次評価後). Content includes '乳幼児・学童歯科保健事業' and '健康福祉課'.

Table with columns: 事業費及び財源内訳 (千円), 事業活動の実績 (活動指標). Includes sub-tables for '事業費' and '財源内訳' with rows for '直接事業費', '国庫支出金', '県支出金', etc.

Table showing '向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)' with columns for 28年度, 29年度, 30年度, 31年度, 32年度, and 5年間の合計.

Table for '成果指標' and '指標設定の考え方'. Includes a chart showing '12歳の永久歯の一人当たり虫歯保有数' with a target of 1.0 and actual performance of 0.7.

今年度の課題への対応状況 (途中経過) 中学生の現状を確認し、ブラッシング指導時に意識調査を行う。小学校のフッ素洗口・歯磨きについても全員がしっかり行えるよう再確認・学校と協議していく。

Main evaluation table with columns: 事業の事業名, 自己評価(担当者), 一次評価(所属長), 評価所長. Rows include '目的の妥当性', '町民ニーズへの対応', '事業の効果', '成果向上の可能性', '施策への貢献度', '手段の最適性', 'コスト効率', '受益者負担の適正'.

事務事業名	乳幼児・学童歯科保健事業	予算事業名	乳幼児・学童歯科保健事業	担当課	健康福祉課
会計名称	一般会計	予算科目	4 款 1 項 6 目	所属長名	物袋 由美子
総合計画での位置づけ	すべての町民が健やかに暮らせるまちをつくる 安心な子育て環境をつくる			担当責任者名（記入者）	山下 友紀子
事業の性格	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等	健康増進法	
事業の対象	乳幼児から中学生		実施期間	【開始年度】	昭和 59 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	乳幼児期からフッ化物を使い、虫歯になりにくい強い歯を作るとともに、ブラッシングを始めとした、歯の衛生教育を通して、生涯を通じて歯の健康状態を向上させる。		事業の内容	〈乳幼児〉集団教育、個別ブラッシング指導、歯科健診〈幼稚園・保育園・小学校〉フッ化物洗口(週1回法)、ブラッシング指導、歯ブラシ配布〈中学校〉ブラッシング指導、歯ブラシ配布・歯科保健連絡会の開催。	
改善策の具体的取り組み（当初）	幼稚園での育児学級、小学校教諭に対して、歯の健康づくりの講話を行った。		改善策の具体的取り組み（二次評価後）	学童の保護者の働きかけとして、ブラッシング指導を自由に見学し保護者も学べる体制を学校に取っていただき、呼びかけてもらった。	

（担当責任者） 自己評価	妥当性	目的の妥当性	4	B	B	目的の妥当性	4	妥当性	一次所属長評価
		町民ニーズへの対応	4			町民ニーズへの対応	4		
		町の関与の妥当性	4			町の関与の妥当性	4		
有効性	事業の効果	事業の効果	4	B	B	事業の効果	4	有効性	
		成果向上の可能性	4			成果向上の可能性	5		
		施策への貢献度	4			施策への貢献度	4		
効率性	手段の最適性	手段の最適性	4	B	B	手段の最適性	4	効率性	
		コスト効率	4			コスト効率	4		
		受益者負担の適正	4			受益者負担の適正	4		
課題認識	就学後は保護者への働きかけが難しいため、本人への意識付けを学校と協力して行っていく必要がある。				関係機関である九州大学、学校医、教育委員会、学校、保育園、幼稚園と適宜、調整を行っている。学童期以降は自ら歯の健康づくりに取り組むことができるよう、関係機関と連携を今後もすすめていく必要がある。				
		自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。				一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。			

施策を踏まえた判断	二次評価	<input checked="" type="checkbox"/>	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 乳幼児から中学校まで一貫した歯科保健事業を九州大学予防歯科の協力を得て実施。「12歳のむし歯を1本以下に」という当初の目標を達成。中学校卒業後も歯の健康づくりを継続できるように、今後も更なる推進が必要である。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		<input type="checkbox"/>	市民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。
				行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <p>久山町のオリジナリティ、優位性をアピールできる事業であるため、居住、人口誘導施策においても、PRすべき事業であり更なる強化を望む。課題として保育園との連携策、中学生以降への啓発を検討していくべきである。事業活動の実績は人数ではなく、%のほうが望ましいと考える。</p>
------------	------	--

経営者会議の最終判断	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	コメント欄	○久山町が先導的に行ってきた事業であり問題はないが、他分野と一緒に町外へのPRを行うこと。
------------	--------	--	-------	---